



Cisco ISE-PIC のインストールとアップグレードの概要

このガイドでは、以下の方法について説明します。

- Cisco ISE-PIC リリースのいずれかを初めてインストールして設定する「[Cisco ISE-PIC のインストール](#)」を参照してください。
- 以前のリリースから新しいリリースにアップグレードする「[Cisco ISE-PIC のアップグレード](#)」を参照してください。

この章の残りの部分では、ISE-PIC の用語とインフラストラクチャの概要について説明します。ISE-PIC の設定と使用に関する追加情報と詳細については、『*Identity Services Engine Passive Identity Connector (ISE-PIC) Administrator Guide*』を参照してください。

- [Cisco ISE-PIC の用語](#) (1 ページ)
- [Cisco ISE-PIC のアーキテクチャ、展開、およびノード](#) (3 ページ)
- [前提条件および仮想アプライアンスの要件](#) (3 ページ)

Cisco ISE-PIC の用語

このガイドでは、Cisco ISE-PIC について説明する際に次の用語を使用します。

用語	定義
GUI	グラフィック ユーザー インターフェイス GUI は、ISE-PIC のソフトウェアインストールのすべての画面とタブを示します。
NIC	ネットワーク インターフェイス カード。
ノード	個別の物理または仮想の Cisco ISE-PIC アプライアンス。

用語	定義
PAN	ISE-PIC 展開のメインノードはプライマリ管理ノード (PAN) であり、使用可能なすべてのアクションを実行できるノードです。ISE-PIC では、最大 2 つのノードをインストールできます。インストールする 2 番目のノードは、セカンダリ管理ノード (セカンダリ PAN) と呼ばれます。
パーサー	syslog メッセージを受信し、その入力を分割して管理、マッピング、および ISE-PIC にパブリッシュできる ISE-PIC のバックエンドコンポーネント。パーサーは、到着する syslog メッセージの各行の情報を調べて、重要な情報を探します。たとえば、「mac=」を検索するようにパーサーが設定されている場合、パーサーはそのフレーズを検索しながら各行を解析します。パーサーは、設定された主要なフレーズを検出すると、定義された情報を ISE に送信するように設定されています。
プライマリ ノード	ISE-PIC 展開のメインノードはプライマリ管理ノード (PAN) であり、使用可能なすべてのアクションを実行できるノードです。ISE-PIC では、最大 2 つのノードをインストールできます。インストールする 2 番目のノードは、セカンダリ管理ノード (セカンダリ PAN) と呼ばれます。
プローブ	プローブは特定の送信元からデータを収集するメカニズムです。プローブは任意のメカニズムを説明する一般的な用語ですが、データの収集方法や収集対象を具体的に説明するものではありません。たとえば、Active Directory (AD) のプローブは ISE-PIC が AD からデータを収集するのに役立ちますが、syslog のプローブは syslog メッセージを読み取るパーサーからデータを収集します。
プロバイダー	ISE-PIC がユーザーアイデンティティ情報を受信し、マッピングし、公開するクライアントまたは送信元です。
セカンダリ ノード	ISE-PIC 展開のメインノードはプライマリ管理ノード (PAN) であり、使用可能なすべてのアクションを実行できるノードです。ISE-PIC では、最大 2 つのノードをインストールできます。インストールする 2 番目のノードは、セカンダリ管理ノード (セカンダリ PAN) と呼ばれます。
サブスクリイバ	ユーザーアイデンティティ情報を受信するために ISE-PIC サービスをサブスクリイブするシステム。

Cisco ISE-PIC のアーキテクチャ、展開、およびノード

Cisco ISE-PIC アーキテクチャには、次のコンポーネントが含まれます。

- ノード : Cisco ISE-PIC では、次に示すように、最大 2 つのノードを設定できます。
- ネットワーク リソース
- エンドポイント

展開内の Cisco ISE-PIC ノードが 1 つの場合は「スタンドアロン展開」と呼ばれます。

Cisco ISE-PIC ノードを 2 つ含む展開は「ハイアベイラビリティ展開」と呼ばれ、1 つのノードがプライマリプライアンス（プライマリ管理ノード、または PAN）として機能します。ハイアベイラビリティ展開により、サービスの可用性が向上します。

PAN は、このネットワーク モデルに必要なすべての設定を提供し、セカンダリ Cisco ISE ノード（セカンダリ PAN）はバックアップロールで機能します。セカンダリノードはプライマリノードをサポートし、プライマリノードとの接続が失われるたびに機能を再開します。

Cisco ISE-PIC は、セカンダリノードがプライマリノードの状態と一致するように（したがって、バックアップとして使用できるように）、プライマリ Cisco ISE-PIC ノードが存在するコンテンツのすべてをセカンダリ ISE-PIC ノードと同期するか、複製します。

ISE Community Resource

展開とスケールリングの詳細については、「[ISE Deployment Journey](#)」を参照してください。

前提条件および仮想アプライアンスの要件

ISE-PIC は仮想マシンのみサポートしています。仮想マシンは、Cisco SNS 3500 または 3600 シリーズアプライアンスの仕様に基づいている必要があります。

SNS-3500 シリーズアプライアンスについては、『[Cisco SNS-3500 Series Appliance Hardware Installation Guide](#)』を参照してください。

SNS-3600 シリーズアプライアンスについては、『[Cisco SNS-3600 Series Appliance Hardware Installation Guide](#)』を参照してください。

Cisco ISE-PIC をインストールするための追加の前提条件とシステム要件について、次の表で概要を示します。

表 1: 仮想アプライアンスの要件および前提条件

タイプ	説明
仮想アプライアンス	<p>Cisco ISE-PIC ノードの仮想マシンの要件、前提条件、および関連する手順は、通常の Cisco ISE ノードと同じです。</p> <p>Cisco ISE-PIC は、Cisco ISE と同様、小規模、中規模、および大規模の導入モデルをサポートします。最適なパフォーマンスを達成するため、ISO イメージを使用して Cisco ISE-PIC を手動でインストールする場合、必ず同等のリソース予約を割り当てるようにしてください。</p> <p>Cisco ISE-PIC は、次の仮想プラットフォームにインストールできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • VMware 仮想マシン • Linux KVM • Microsoft Hyper-V <p>仮想マシンの要件に関する詳細情報については、『Cisco Identity Services Engine Installation Guide』を参照してください。</p> <p>ISE または ISE-PIC を適切にインストールするには、『Cisco Identity Services Engine Installation Guide』に記載された、前提となる設定とセットアップに従うことが重要です。</p>
ソフトウェア (Software)	<p>特別なオペレーティングシステムやソフトウェアの要件はありません。ISE-PIC の ISO イメージには、必要なすべてのソフトウェア項目が含まれています。</p>

ISE Community Resource

展開とスケーリングの詳細については、『[ISE Deployment Journey](#)』を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。